

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

# TPR工業株式会社

寒河江市にある TPR 工業株式会社の若手社員、黒政勇氣さん取材しました！  
黒政さんは、山形大学工学部物質化学工学科を卒業した後、2014 年に入社しました。  
現在は、製品開発部で勤務しています。  
また、業務部総務グループの松田貴文さんにも同席していただきました。

## (1) 仕事内容編

———現在、どのようなお仕事をしていますか。

TPR 工業株式会社はシリンダライナと呼ばれる自動車部品を製造しています。その中で、私の所属する製品開発部では既存技術を利用した新製品の開発、メーカーへの提案、海外拠点に対しての技術連携のアドバイスに加え、グループ内企業との情報共有や、一部営業的な仕事までしています。



———想像していたよりもかなり幅広い業務内容に感じます。



そうですね。TPR 工業株式会社の製品開発部は他部署に業務を取り次ぐ立場なので、仕事内容が幅広いということもありますね。他部署から連絡が来ること多い部署です。

TPR 工業株式会社は東京や浜松、名古屋、大阪、広島にも拠点があるので、遠くの拠点にいる営業担当と打ち合わせをすることもあります。打ち合わせ用の資料作りも多いですね。

——製品開発だと、資格も必要になるのでしょうか。

資格取得は会社から勧められています。費用を会社が負担してくれる仕組みがあるんですよ。それから私は工業高校の出身なので、その時に取った資格は今でも使えていますね。



## (2) 職場編

### ——TPR 工業株式会社に就職を決めたきっかけは何ですか。

もともと新しい物を作りたいという漠然とした意識がありました。就職活動で自分が何をしたいのかを考えた時に、工学部ということもあり、企業を自動車部品分野に絞って探してみました。自動車と言えばエンジン！って思いますが、大企業ではなく、県内の地域でも自動車部品に関わっているような中小企業に目を向けている中で、大学の就職支援課に提案してもらったのが TPR 工業株式会社です。



正直なところ、県内企業にしたのは、都会とか大きなところにあまり行きたくなかったのもあるんですが……。

### ——福利厚生など、TPR 工業で働く中で良いなと感じる点はありますか。



(黒政さん)

土日を始め GW やお盆休み等、休暇は充実していますね。その点は今時珍しいのではないのでしょうか。家族とも予定が立てやすいので、休みってやっぱり大事ですね。施設面では……食堂でしょうか。日替わりですし、山大の学食よりも安いんですよ！お弁当を自分で作るよりも安くて助かっています。他にも、誕生日

の時に、ケーキがワンホール出たりします (笑)。

(松田さん)

育児休業の取得率促進に取り組んでいて、女性の育休取得率と復職率共に 100% で、復職後も同じ所属職場に戻って仕事をされています。働きやすい職場環境ができているのではないかと思います。

課題は男性の育休取得率の促進で、育休期間は基本的に給与がなくなるため育児休業給付金で給与のおよそ 7 割の額が補填されますが、夫の収入が生活の支えになっているご家庭は多く、それが減ってしまうことがネックとなって、育休を取りたくないという方も実際は多数いるんです。

### (3) ある日の過ごし方編

#### ●8:00 【出社】

#### ●8:20 【ラジオ体操・朝礼】

部内で行われる朝礼では、挨拶の唱和や怪我をしないように「〇〇よし!」と確認を行います。上司から行事等に関する連絡が行われることもあります。

#### ●8:25 【業務開始】

週の始めには、部内連絡会をします。約1~2週間分の個々人の業務をお互いに確認します。情報を共有することで部内の連携を図り効率化しています。

#### ●9:50 【休憩】

先輩方と仕事の話をしたり雑談したりして過ごします。

#### ●10:00 【業務再開】

メーカー様との打ち合わせを行います。試作品を渡し、WEB会議で評価や最新の開発状況を聞きます。



#### ●11:00 【報告書作成・メールチェック】

会議後にはメーカー様へ提出用の報告書を作成します。他には営業を通してお客様からの連絡はないか確認をします。

●12：15【お昼休憩】

35分と、少し短いですね（笑）。

社員食堂で食事をとります。以前はお弁当を作っていましたが、作るよりも安価で済むので助かっています。

（総務部 松田さん）

会社としては12：00から12：35までがお昼休憩なのですが、コロナ禍のために部署ごとに少し時間をずらしています。

●12：50【業務再開】

営業担当と連絡を取り合います。メーカーの状況や進捗確認をします。

他には、備品の発注業務やメーカー様向けのプレゼン資料作成を行います。



●14：35【休憩】

●14：45【業務再開】

お客様から届いたエンジンを確認します。調査担当者とも打ち合わせを行います。

他には、進捗確認、メールチェック、電話対応など細々とした業務をこなすうちにあっという間に時間も過ぎていきます。

●17：10【終業・退勤】

残業をする人はあまりいません。帰宅後は家事などをします。

#### (4) むらやまでの暮らし編

——秋田県のご出身と伺いましたが、村山地域で就職を決めた理由は何でしょうか。

大学進学を機に山形県に引っ越して、今は寒河江市内に住んでいますが、元々住んでいた地元とも似ていて住みやすいですね。他の地域と比べても除雪も上手いですし（笑）。食べ物や自然も良いですよ。それから、必要最低限のものをすぐに買いに行けることも良い点だと思います。

あと、私は一人っ子なのですが、両親のことを考えると、実家がある秋田と近いので安心というのもありますね。



——村山地域で暮らしていて良かったことを教えてください。

毎週通うくらい温泉が好きなので、寒河江に住んでいると、「ゆ〜チェリー」や天童の「ゆぴあ」、大江町の「テルメ柳陵」が車で通いやすい位置に沢山あるのは良いですね。リフレッシュできるところが多いので、仕事とプライベートにメリハリを持ちつつ生活出来ます。また、友人とキャンプに行くことも趣味なのですが、近場でキャンプが出来る施設が沢山あるのは楽しいですね。何をやるにも都心と違って渋滞や混雑に悩まされないところも村山地域の魅力に感じます。

——仕事が終わって帰宅した後やお休みの日などは、どんな風に過ごしていますか。

退勤後の手伝いですね。休日は妻の買い物に付き合ったり、最近は道の駅巡りにハマっているのでドライブしたりもしますね。

道の駅に行ってみると、野菜や果物が安いですよね。最近行って良かったのは、寒河江アグリランドですかね。あまり並ばずにジェラートが食べられます。道の駅だとチェリーランドに行きがちですが、そこだとジェラートに並ぶ必要があるのが……。

——ジェラートはおいしいですよ。他にもお好きな食べ物はありますか。

(黒政さん)

山形に来てからラーメンが好きになりましたね。秋田にいたときは、あまり「ラーメンを食べに行こう」とはならないです。

(松田さん)

山形だと、ラーメン屋を探しがちかもしれないですね。

(黒政さん)

譲ったとして、ジャンルは中華、くらいでしょうかね。

それはさておき、食べ物という点では山形県は地産地消が強いというか、アピール力に長けている印象があります。そんなにだだちゃ豆推す?! みたいな(笑)。もし自分の地元でしたら、あそこまで有名にはなっていないだろうなあと感心しますね。

他にも車で1時間くらい走れば海に行けてカキも食べられるし、山でキャンプはできるし、酒蔵も多いですね。醤油や梅酒、有名な味噌もあってこうしたものをもっと知ってほしいですね。

——お勧めの場所がありますか。

庄内にある「玉簾の滝」ですね。足湯カフェもあるんですよ。

山形だと、春は山に行って、夏は涼を求めてかき氷屋や山寺に行って、秋は紅葉? 冬は雪を利用したイベントと、四季を楽しめますね。雪は大変ですが、慣れるしかないかなと。雪を有効利用する、楽しむことがやはり必要ですね。

お祭りも多いのかな。寒河江だと町単位で神輿を担いでいますね。秋田県はここまでの数はないように思います。

——他の社員さんと交流する場などもあったりするのですか。



今は新型コロナの影響で出来ていませんが、以前はよくありました。会社から出るレクリエーション費で暑気払いの部内飲み会や、秋であれば河川敷で芋煮会もありましたね。運動会も開催して家族ぐるみで参加したり、忘年会の旅行では天童に行ったりと交流の場は多いです。他にも部活動もあり、卓球、ボウリング、フットサル、ゴルフなど大学のサークルみたいな感覚で、興味のある人達が部署に関係なく集まり、会社終わりに活動していますね。

### (5) まとめ編

※ここでは、総務グループの平澤正晴さんにも同席していただきました。

——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。

昨年結婚したこともあり、心機一転仕事もしっかりすることは勿論、まずは幸せな家庭を築くことですかね。職場では8年目ということもあり、中堅としての扱いを受けるので、自分の実力が試される場面も多いです。初心に戻り、常に課題に向き合い成長していかないと、とも感じます。毎日必死に食らいついて頑張っていきたいですね。



——20年後の自分の姿について、何かビジョンはありますか。

20年後ですか……。私生活であれば、子どもを育てられていたらいいなと思います。社会的には私も引っ張っていく側の立場にはなっているのかなと思います。電気自動車が普及していくであろう世の中において、企業を存続させるために今から出来ることに取り組んでいきたいです。この会社を作り上げてきた人達が今はまだ会社にいるので、今のうちに引き継いでいかないといけないとも感じています。



——これから就活する学生へ向けて、アドバイスをお願いします。

やっぱり自分とどんな仕事が合うのかはやってみないと分からないですよ。インターンシップに積極的に参加したり、様々なことを経験したりすることは大事だと思います。経験をすることで、自分に合っている／合っていないが分かるようになります。

学生時代のうちに語学能力やコミュニケーション能力を伸ばしたり、会社によってはExcel や PowerPoint などの操作に慣れておいたりすると役に立つと思いますよ。

——最後に、総務部の平澤さんにもお伺いします。女性の活躍推進や働きやすい職場づくりについて教えてください。



女性社員の割合は、令和3年3月末で8.9%です。平均勤続年数では、技術職だと7年、製造だと20年となっています。役職者は7%弱です。こうした各種の数字を上げたいと思っています。役職者の女性割合10%超が一つの目標でしょうか。もちろん、数字だけが上がれば良いわけではなくて、精査した上で昇進、と実態も伴うことが重要です。

その一方で、男性も女性もみんな当社の社員という点で同じなので、ことさら「女性のための活躍の場」ということを言わなくても、当たり前みんなに仕事がある、と言っていきたいですよ。

働きやすい職場づくりとしては、発言の機会を設けようということで、社長に報告する会があります。思っていることを率直に伝える場ですね。それから復職のサポートとして、休職期間中の手続きはなるべく会って行うようにしています。会社に赤ちゃんと一緒に来ることでコミュニケーションにもなりますから。

———ありがとうございました！

訪問してみて、製造業に抱きがちな硬派なイメージとは真逆な、社内の明るく軽やかな空気感が印象的でした。また、育児休暇制度やレクリエーションなど福利厚生面もとても手厚く、そのことが真っ先に働く人の口から出てくるところにも働きやすさという点で好感が持てました！ TPR 工業は、グローバルな企業展開や、文系理系男女関係なく誰しものが活躍できる職場環境など魅力が詰まった企業に感じました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部

芳賀愛衣、蜂谷優花、小笠原美桜】

## TPR 工業株式会社

---

★若手社員が最前線で活躍中！世界シェア No.1 の TOP メーカー

オンリーワンのアズロック技術は、自動車をはじめとした世界のモノづくりに貢献しています。

★令和 3 年度優良安全運転事業所（銀賞）など受賞

- ・所在地 山形県寒河江市中央工業団地 1 番地
- ・設立 昭和 45 年 6 月
- ・従業員数 440 名（男性 396 名、女性 44 名）
- ・事業内容 ガソリン、ディーゼルエンジン向けのシリンダライナ製造
- ・URL <https://tpkk.jp/>

